

米国アカデミー賞公認国際短編映画祭 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2014 作品募集を8月1日より開始

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA)」(企画・運営:株式会社パシフィックボイス 代表取締役社長 別所哲也)は、2013年8月1日(木)より2014年度の開催に向けた作品募集を開始しました。

国内に向けた応募対象部門は、日本人監督作品を上映する「ジャパン部門」、環境問題をテーマとした「地球を救え!部門」、音楽と映画の新しい形を創出する「ミュージックShort部門」、日本から世界に向けてCGクリエイターの才能発信を行なうべく設立された「CGアニメーション部門」の4部門。国際短編映画祭は未来の映像作家の登竜門、SSFF & ASIA 2013では120の国と地域から5,000を超える応募がありました。

オフィシャルコンペティションであるインターナショナル部門、アジア インターナショナル部門、ジャパン部門の優秀賞3作品から選ばれるグランプリ作品は、次年度の米国アカデミー賞短編部門のノミネート選考対象作品となります。また、ジャパン部門は、日本国内初上映の作品という規定がなくなり、より多くの作品がエントリーできるようになりました。

応募締切は部門によって異なります。詳細はオフィシャルサイト(www.shortshorts.org/)から作品募集ページをご参照ください。また、若き映像クリエイターを応援する当映画祭では、日本人監督応援プロジェクトとして海外映画祭への出品代行なども行っています。

【SSFF & ASIA 2013 授賞式の模様】



オフィシャルコンペティション審査員(写真左から)
 森 理世(MISS UNIVERSE 2007/モデル/ダンス アーティスト/ディレクター)、
 アミール・ナデリ(映画監督)、成海璃子(女優)、
 原田真人(映画監督)、宝田 明(俳優)



1999年の初回開催から15周年を迎え、「アニバーサリー」をテーマとした2013年度開催のawardセレモニー。ラストでは、審査員、ノミネート監督が全員ステージへ登壇。

【日本人監督応援プロジェクト】以下の3つの柱で、SSFF & ASIAは日本人監督を応援します

①海外映画祭への出品代行

海外映画祭とのネットワーク、ノウハウを活かして出品を一年間無償で代行しています。

◆出品&サポート実績

クレルモンフェラン国際短編映画祭(フランス)、ロカルノ国際映画祭(スイス)、ベルリン映画祭(ドイツ)、パーム・スプリングス国際短編映画祭(アメリカ)、ザグレブ国際アニメーション映画祭(クロアチア)、サンダンス映画祭(アメリカ)、ロッテルダム国際映画祭(オランダ)、ほか

②ショートフィルムのコンテンツマーケット展開

SSFF & ASIAは、映画祭を通して、コンテンツビジネスのチャンスを生み出します。新規映像制作の新たな機会をつくり、映像クリエイターと映像放送や配信事業者をつなぐマーケットのプラットフォームを提供します。

③横浜みなとみらいのショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショート シアター(www.brillia-sst.jp/)での作品上映

<メディアからのお問い合わせ>
 広報事務局(共同ピーアール株式会社内)
 中里・吉田・横山
 TEL:03-3571-5238 FAX:03-3571-5380
 E-mail: keisuke.nakazato@kyodo-pr.co.jp

<一般の方からのお問い合わせ>
 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局
 高橋・川村
 TEL:03-5474-8844 FAX:03-5474-8202
 E-mail: press@shortshorts.org

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2014は下記の4部門にて、国内応募を受け付けます

- ① **ジャパン部門(オフィシャルコンペティション)**
- ② **地球を救え！部門**
- ③ **CGアニメーション部門**
- ④ **ミュージックShort部門**

<募集内容>

① **ジャパン部門**

オフィシャルコンペティションの1部門として、米国アカデミー賞短編部門ノミネート選考対象となる部門。当映画祭のオフィシャルコンペティションでは(ジャパン部門、アジア インターナショナル部門、インターナショナル部門)優秀賞とオーディエンスアワード(観客賞)をそれぞれ設けています。グランプリは、各部門の優秀賞3作品の中から1作品選出されます。

【応募ガイドライン】

- ・日本国内初上映は不問。
- ・インターネット上での配信においては、サイトの拠点が国内外問わず応募規定外となります。
- ・25分以内(エンドクレジット含む)
- ・2012年6月以降に完成した作品
- ・プロモーションビデオ(ミュージッククリップ)以外の全てのジャンル
- ・英語と日本語以外の言語による作品は、オリジナル言語の対訳の日本語字幕または、英語字幕をつけて下さい。
- ・前年度の映画祭にご応募された作品は再応募いただけません。
- ・DVDの到着をもって応募完了となります。
- ・応募は当日消印有効です。
- ・応募作品は上記以外のSSFF & ASIA内の特別プログラムやアワードのノミネート対象となる場合があります。

【賞金】

- ・優秀賞:60万円
- ・オーディエンスアワード:20万円 ※賞の名称、金額等は変更する可能性があります。

【募集期間】

- 第一次募集期間 無料 2013年8月1日(木)～2013年10月31日(木)
第二次募集期間 有料3000円 2013年11月1日(金)～2014年1月20日(月)

② **地球を救え！部門**

テーマは「地球環境問題」です。小さな、個人レベルのエコ、リサイクル活動から、地球温暖化防止、大気汚染、自然保護などグローバル規模の課題まで、我々の子孫が受け継ぐ「地球」について、考えさせられる作品を募集します。ジャンルは問いません。(例)地球温暖化、大気汚染、水質汚染、騒音、ごみ問題、リサイクル、自然保護など

【応募ガイドライン】

- ・日本国内初上映は不問。
- ・25分以内(エンドクレジット含む)。
- ・2012年6月以降に完成した作品
- ・プロモーションビデオ(ミュージッククリップ)以外の全てのジャンル。
- ・英語と日本語以外の言語による作品は、オリジナル言語の対訳の日本語字幕または、英語字幕をつけて下さい。
- ・前年度の映画祭にご応募された作品は再応募いただけません。
- ・DVDの到着をもって応募完了となります。
- ・応募は当日消印有効です。
- ・応募作品は上記以外のSSFF & ASIA内の特別プログラムやアワードのノミネート対象となる場合がございます。

【賞金】

- ・優秀賞:60万円
- ・オーディエンスアワード:20万円 ※賞の名称、金額等は変更する可能性があります。

【募集期間】

2013年8月1日(木)～2013年12月20日(金)

③CGアニメーション部門

4年目を迎える世界各国のCGショートフィルムの特集。世界でもそのCG技術が高く評価される日本から世界に向けて、CGクリエイターの才能発信を行なうべく、世界各国からフルCGアニメーションの作品を募集します。作品のストーリー性に加え、CGの特性を活かした表現の新しさ、視覚演出などの技術を審査対象とします。

【応募ガイドライン】

- ・日本国内初上映は不問。
- ・25分以内（エンドクレジット含む）
- ・2012年6月以降に完成した作品。
- ・英語と日本語以外の言語による作品は、オリジナル言語の対訳の日本語字幕または、英語字幕をつけて下さい。

【賞金】

優秀賞 60万円 ※賞の名称、賞金等は変更の可能性があります

【募集期間】

2013年8月1日（木）～ 2013年12月20日（金）

④ミュージックShort部門

エンタリー楽曲を使用して、クリエイターが自由にオリジナルのショートフィルムを制作出品する部門。
音楽×ショートフィルムの化学反応から、新たな世界が生まれる... 感性あふれる作品を創り出してください。

【応募ガイドライン】

- ・映画祭指定楽曲を使用した映像である事
- ※指定楽曲は映画祭公式HP (www.shortshorts.org)にて随時更新致します。
- ※指定楽曲は1作品1曲の使用を条件とします。
- ※指定楽曲のシンクロ権に関しては、原盤権保有者より許諾を得ています。
- ※楽曲自体の総尺の3分の1以上を使用するものとし、使用箇所は問いません。
- ※楽曲は映像作品冒頭および中間、エンディングのいずれかのみでの使用も可能とします。
- ・10分以内（エンドクレジット含む）。
- ・2013年8月以降に完成した作品。
- ・英語と日本語以外の言語による作品は、オリジナル言語の対訳の日本語字幕または、英語字幕をつけて下さい。

【賞金】

- ・クリエイティブアワード（予定）
- ※賞の名称、賞金等は変更の可能性があります

【募集期間】

2013年8月1日（木）～ 2013年1月20日（月）

※作品のエントリーは、同ウェブサイトの応募フォームよりエントリーしてください。

※詳しい応募要項は、オフィシャルサイト (www.shortshorts.org) から作品募集ページをご覧ください。

■ SSFF & ASIAについて (www.shortshorts.org)

SSFF & ASIAは、新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が創立者となり、1999年に「アメリカン・ショートショート フィルムフェスティバル」として東京・原宿で誕生しました。初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムを6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。また、初年度開催日である6月4日は、「ショートフィルムの日」に制定されています。(日本記念日協会認定)

2001年には、「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。また、同年には前・東京都知事の石原慎太郎氏の発案により、アジア発の新しい映像文化の発信、新進若手映像作家の育成目的からショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF ASIA)を立ちあげ、現在はSSFFとSSFF ASIAという2つの映画祭が、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)」として同時開催されており、アジア最大級の国際短編映画祭と成長しています。



1999年、アメリカ大使館にて行われたパーティーにて。(左:SSFF & ASIA代表の別所哲也、右:ジョージ・ルーカス監督)

映画祭が10周年を迎えた2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショート シアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ28万人を動員し、日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げています。

■ ブリリア ショートショート シアターとは (www.brillia-sst.jp)



米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」と連動した日本初のショートフィルム専門の映画館として、2008年、横浜・みなとみらいに誕生。世界中から集まった選りすぐりの作品を1プログラム60分の中で4~6本上映。館内はレッドカーペットをモチーフに赤を基調とした内観で、カフェではドリンクやフードも充実し、オペラ座でも使われているフランスキネット社の椅子が、ゆったりと心地よいショートフィルムの世界へと誘います。国際映像文化事業としても注目を集めるショートフィルムの活性化、また、将来の映画界を担う若手クリエイターへの才能発掘という想いのもとショートフィルムの魅力を発信しています。